

平成18年7月4日

平成18年学習支援事業（訪問講座）に関する報告

- 日 時 平成18年6月22日（木）13：30～15：30
- 場 所 鳥取県民文化会館 第4会議室
- 講演者 NPO法人気候ネットワーク事務局長 田浦 健朗
- 参加人員 37名

1 講演内容の概要について

【テーマ】《 自然環境に配慮した生活のあり方 ―地球温暖化の防止のために― 》

（1）地球温暖化問題とは

大気中の「温室効果ガス」が増加し、気温が上がることによって起こる異常気象などの影響や被害。

様々な種類がある「温室効果ガス」の中でも、二酸化炭素はもっとも温暖化への影響度が高いガス。

私たちの生活、社会、経済が電気、ガス、ガソリンの大量消費に依存しているため、二酸化素の排出量が増え続けている。

地球温暖化は単に気温が上昇するだけでなく、私たちのくらしや社会、経済のすべてに影響を及ぼす問題である。

- ・ 私たちの生活が地球温暖化の原因となっている（温暖化の原因と将来予測）
- ・ 家庭の温暖化対策の方法について（家庭でできる省エネやグリーンコンシューマー活動）
- ・ 一人でやっても効果はない（みんなでできる温暖化防止活動）

2 受講者からの質問と回答（主なもの）について

Q：講座で紹介された風刺画に感銘を受けたので、提供してもらえないか。

A：風刺画を講座で紹介する際には、事前に作者の了解を得ている。著作権の関係上、作者への確認が必要であるので、後日連絡したい。

鳥取県生活環境部消費生活センター

（注）この報告書は、事務担当者が作成したものであり、内閣府国民生活局の正式な見解ではありません。